

大風 便り 第232号



ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和7年9月20日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

IP: 050-8034-1140

開館時間: 9時～17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、ご家族でお越し下さい

～「未来へつなぐ、東近江大風 vol.2」～ ＝100 畳敷東近江大風の完成＝



9月も後半に差し掛かり、いよいよ秋色が景色を染めるとかと思いきや、いまだ今年の炎暑は濃やかな影を映しだしますね。私は秋がとても好きなので待ち遠しい限りです。

さて、「慶祝昭和100年」の100畳敷東近江大風はどうなったかといえますと、無事9/6(土)に完成披露を迎えました！完成披露当日はマスコミの方々も多くご参加いただいたため、完成の報をテレビやネットのニュース、新聞などで目にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？東近江が再び大風を通して団結し盛り上がると思うと、会館職員として、大風制作参加者として、東近江市民として嬉しい限りです。

さて、前回は大風作り前半をお送りしたので今回は引き続き、後半となる骨組みから完成までをお送りします。まるで大風のデアゴスティーニみたいですね！（前号をまだお読みでない方は大風会館HP内の大風便りよりご覧いただけます）

【君にも作れる！？100畳敷東近江大風の作り方（後編）】

用意するもの：割竹、細い割竹、紙テープ（竹に巻く）、風糸、糊、刷毛、和紙、墨

① まず、完成した絵の上に割竹をならべ縦横の骨をくくります。のちに絵柄に沿った絵骨を作るため絵は表向きのままであることに注意が必要です。

② 縦と横の骨に、さらに細く割った竹を括り付けていき、「菱骨」をつくります。菱骨は括り付けた後の形が菱型(◇)にみえることに由来します。長巻きの際、この菱骨がらせん状に入ることになるため運搬強度が増します。縦横の骨がずれたりねじれたりしないために斜めの骨は風糸に必須となるのですが、これだけ細かく入れるのは東近江大風だけの特徴です。

③ 菱骨がすべて取り付けられると次は「絵骨」を作ります。絵骨とは東近江大風の特徴の一つである「切り抜き工法」を行うための骨です。切り抜きとなる部分の線にそって割竹を曲げながら少しずつ括りつけていきます。決まった曲げ方はなく、絵も毎回かわるため頭を

つかって工夫するのが醍醐味です。前工程で細かく菱骨をいれ、括り付けられる部分が増えているから可能な技法です。

④ 絵骨が取り付け終わると骨組み自体は完成です。次に絵と骨組みを合わせるため、一度骨組みを巻き、下にある絵を裏向けます。その上からもう一度骨組みを絵にあわせて重ねます。



⑤ のりしろを残し、絵骨に沿って下にある絵を切り抜きます。和紙で骨を巻き込むため、手のひら幅くらいの間隔で回り込む部分まで切り込んでいきます。中の切り抜きだけでなく外周もすべて行う必要があるため、切ると同時に、糊をつける人、貼っていく人が順番に効率よく作業を行っていきます。

⑥ 切り抜きが完成すればいよいよ「願い札貼り」が行われます。願い札は小判型に切った和紙に願い事と名前を書いたもので、絵と骨組みをしっかりと貼り合わせるために使います。今回の大風制作では、制作参加者や見学に来られた方々に記入いただき、合計約450枚の願い札が貼られました。

⑦ 最後に絵の手直しとなる「化粧塗り」を行います。絵骨に沿って巻き込んだ部分の和紙が白く残ってしまうところが出てくるため、見栄えが良くなるよう墨で塗っていきます。なんてことのない作業にも思えますが、この作業によって完成度は一層高くなるため、手が抜けない、最後にふさわしい作業であると言えるでしょう。

以上が「100畳敷東近江大風」制作の全工程になります。ここまでにかかった制作日数22日間、延べ人数559人となり、多くの団体や市民、県内外の方の手によって完成を迎えました。完成披露では、今後の大風揚げ再開にあたっての安全対策説明や制作参加者の感想、最多参加者への表彰も行われました。記念撮影のため大風の上部が持ち上げられるとおお～という声とともにたくさんのシャッター音が聞こえていました。下書きを担当した鶏の顔がちゃんと描けているか不安でしたが大きくは間違っただけだったので個人的にはようやく一安心です(笑)。絵は場所によって見え方が大きく変わるものですが、これが空に舞うとどうなるのか、今からとても楽しみです。揚げる日程は未定なのでこちらは続報をお待ちください。

ここまで、前号とあわせ2回にわたって制作の様子をお届けさせていただきましたが、いかがでしたか？ここには書ききれないノウハウが大風にはまだまだ詰まっています。制作だけでなく、より難しい「揚げる技術」もあります。是非大風会館に足を運んで実物を見ていただき、その秘密を探ってみてはいかがでしょうか？また、さらに深く知り、関わってみたいと思われた方、チャレンジ“大風”、や成人大風、もしかすると次の100畳敷大風も…？などの機会があれば大風作りも体験してみるのも楽しいですよ！

あなたの手で東近江市の伝統文化を未来に残してみませんか？

作業の様子は東近江大風会館ホームページ

(<https://higashiomi-j.com/oodakokaikan/>) から見る事ができます。



最多参加者のお二人



制作の様子 QR コード

＝チャレンジ“大風”の大風制作が始まりました＝



東近江大風は、滋賀県東近江市の伝統文化であり、国の無形民俗文化財にも選択されています。そんな「東近江大風」の将来の担い手となる子ども達に、大風の制作及び飛揚技術を伝授するプロジェクトである「チャレンジ“大風”」が始まりました。チャレンジ“大風”は、2007年度から始まり、今回の子ども達は17期生となります。

9月13日（土）には、大風制作の始めの儀式である「のりつけ式」を行いました。のりつけ式では、大風の絵柄が発表されました。今年の“はんじもん”は、『木地師の里 東近江市』と題し、上部に描かれた「師」の文字と「雉（キジ）」の絵柄を合わせて「木地（雉：キジ）師」、中央には東近江市の市章を配し、その下には大きく「里」の文字を描くことで、東近江市が木地師の文化と技術を今に伝える場所であることを力強くアピールしています。

のりつけ式の後には、「紙継ぎ」作業が行われ、制作する風の大きさである8畳敷（約4メートル四方）まで、和紙をレンガ積みのように継ぎ合わせ、1枚の大きな和紙にしました。大風制作は11月8日（土）まで行われ、11月15日（土）に東近江市総合運動公園多目的グラウンドで飛揚します。子ども達が作った大風が無事に大空を舞うことを私も楽しみにしています。



木地師の里 東近江市



紙継ぎ

＝大風揚げ物語 ～祝祭に舞い上がった風～開催中＝



残暑が去年以上に長く続いた今年の夏。日中の気温はまだまだ30度を超えています。今年の秋は短いかもしれませんね。さて、東近江大風会館では、10月19日（日）まで「大風揚げ物語」と題して、これまで歴史的な節目や地域の喜ばしい出来事を彩ってきた東近江大風の軌跡を、当時の写真を通じて紹介いたします。東近江大風は、国や地方の地域の重要な慶事を祝って空を舞いました。1959年の現在の上皇ご夫妻の御成婚祝い、1970年の大阪万博開催、1981年の滋賀県国民体育大会など。また、東近江市誕生した時、市制10周年、20周年といった地域の節目にも、その雄大な姿で市民に感動を与えてきました。そして、今年は「昭和100年」という特別な年を向かえます。この記念すべき年を祝い、江戸時代から続く大風揚げの文化を未来へ継承していく願いを込めて、この夏100畳敷東近江大風が新たに作成されました。長きにわたり人々の希望と喜びを乗せてきた東近江大風の歴史をご覧ください。

＝★まるごと八日市★「八日市は妖怪地」＝

10月に八日市駅前の商店街や施設で妖怪やハロウィンをテーマにしたイベントの開催や飾り付けが行われます。

また10月12日（日）は近江鉄道「ガチャフェス」も開催され、近江鉄道沿線各地でイベントが盛り沢山です。

東近江大風会館では、10月12日（日）に近江鉄道のマスコットキャラクターの「駅長がちゃこん」の風作り体験とお家の中であげることができる「ガオさんのおさんぽカイト作り」を行います。

「ガチャフェス」、「まるごと八日市」の各イベントをお楽しみください。



まるごと八日市 ↑
八日市は妖怪地



「ガチャフェス2025」 ↑
<https://gachafes.jp/>

「駅長がちゃこん」 風作り体験 対象 小学生以下 体験料 300円		ガオさん おさんぽカイト作り 対象 小学生以下 体験料 無料	
--	--	---	--

入館料が必要です。（大人300円、小中学生150円）

＝2025年10月の予定＝

19日（日）まで 大風揚げ物語～祝祭に舞い上がった風～
4日（土） チャレンジ“大風” 8畳敷大風作り
11日（土） チャレンジ“大風” 8畳敷大風作り
12日（日） ガチャフェス2025
19日（日） 家族ふれあいサンデー
19日（日） チャレンジ“大風” 8畳敷大風作り
25日（土） 障スポ 開会式
26日（日） チャレンジ“大風” 8畳敷大風作り
28日（火） 箕作小学校6年生2畳敷大風作り
31日（金） 下田小学校1年生 見学
10月の休館日：10/1・10/8・10/14・10/15・10/21・10/22・10/29

暮らしに息づく小さな「幸せ」を集めた106の体験プログラム

＝「東近江ちいさなたびいち2025」＝

期間限定の「旅の市場」として、東近江市の「作る」「遊ぶ」「癒やす」「食べる」の 카테고리 別に様々なプログラムを体験して楽しめる「東近江ちいさなたびいち2025」が10月



<https://chiisanatabiichi.jp/>

25日（土）から12月25日（木）まで開催されます。東近江大風会館では、12月7日（日）開催の『～午（うま）の風絵～ガリ版年賀状作り』と12月13日（土）開催の『近江だるま絵付け教室』の2つプログラム参加しています。

予約受付は、10月11日（土）お昼12:00から開始です。ぜひご参加ください。

「～午（うま）の風絵～ガリ版年賀状作り」

開催日時 12月7日（日）13:00～15:00
定員 15人 体験料 800円
対象 小学生から大人まで（小学生は保護者同伴）



「近江だるま絵付け教室」

開催日時 12月13日（土）10:00～12:00
定員 20人 体験料 1,500円
対象 小学生から大人まで（小学生は保護者同伴）

